

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmer ご使用上のお願い

フラッシュ書き込みソフトウェアツール Renesas Flash Programmerの使用上の注意事項を連絡します。

- コマンド実行中のエラーに関する注意

1. 該当バージョン

V2.00.00およびV2.00.01

2. 該当マイコン

全てのRXファミリ

3. 内容

3.1項の該当コマンドを実行中に、3.2項のエラーが発生した場合、Renesas Flash Programmer では異常終了せず、3.3項のように間違っで以降の処理を継続します。また、継続される内容によっては最終結果を正常終了と出力する場合があります。

3.1 該当コマンドおよび設定

- 書き込みコマンド (スクリプト・コマンド名では: program)
- ベリファイコマンド (スクリプト・コマンド名では: verify)
- 読み出しコマンド (スクリプト・コマンドはありません)
- 切断前のロックビット設定(スクリプト・コマンドはありません)

3.2 該当エラー

- 書き込みコマンド実行中のエラー一覧
エラー(E1014044) : メモリの書き込み - チェックサムエラー
エラー(E1014045) : メモリの書き込み - アドレスエラー
エラー(E1014046) : メモリの書き込み - 書き込みエラー

エラー(E1014047) : メモリの書き込み - 無効な応答データエラー
エラー(E1014001) : このコマンドの応答は未認識です: 0xXX
エラー(E1014003) : このデバイスではこのコマンドをサポートしていません
エラー(E1017023) : E1/E20接続時にタイムアウトが発生しました
エラー(E1010004) : xx (0xXXXX - 0xXXXX) のロックは失敗しました
エラー(E1014030) : ロックビットの設定 - チェックサムエラー

- ベリファイコマンドまたは読み出しコマンド実行中のエラー一覧

エラー(E1014040) : メモリのリード - チェックサムエラー
エラー(E1014041) : メモリのリード - アドレスエラー
エラー(E1014042) : メモリのリード - データ長エラー
エラー(E1014043) : メモリのリード - 無効な応答データエラー
エラー(E1014001) : このコマンドの応答は未認識です: 0xXX
エラー(E1014003) : このデバイスではこのコマンドをサポートしていません
エラー(E1014048) : リードデータのチェックサムは違います

- 切断前のロックビット設定のエラー一覧

エラー(E1017023) : E1/E20接続時にタイムアウトが発生しました
エラー(E1010004) : xx (0xXXXX - 0xXXXX) のロックは失敗しました
エラー(E1014030) : ロックビットの設定 - チェックサムエラー

3.3 間違って処理される内容

(1) FullモードまたはBasicモードを使用時、出力パネルに「該当エラー」が表示されますが、処理は継続され、ステータス・バーに正常終了と表示される場合があります。

(2) スクリプト実行機能を使用時、「該当エラー」が発生した場合、処理は継続され、結果コード"0" (正常終了)を返す場合があります。
注 : 読み出しコマンドはスクリプト機能に対応していないため、問題は発生しません。

4. 回避策

4.1 書き込み後チェックサムを確認する。

(1) FullモードまたはBasicモード使用時
[プロジェクト設定情報一覧] -> [その他の設定] ->
[フラッシュ書き込みオプション] -> [チェックサム] を有効 (True) にして、該当コマンド実行後にチェックサムを確認してください。

(2) スクリプト・コマンド使用時
programコマンド後にchecksumコマンドを追加し、ログ・ファイルでチェックサムを確認してください。

4.2 出力パネルにエラー表示がないか確認する。

上記3.2項で示した「該当エラー」が表示された場合、

異常終了と判断してください。

4.3 フラッシュ開発ツールキットを使用する。

フラッシュ開発ツールキットは本注意事項には該当していませんので、対応デバイス一覧に掲載されているマイコンについてはご使用いただけます。対応デバイス一覧は以下のURLからご参照ください。

<https://www.renesas.com/fdt>

-> フラッシュ開発ツールキット対応デバイス一覧

無償評価版は以下に公開しています。

https://www.renesas.com/fdt_download

5. 恒久対策

V2.01.00（2013年3月末リリース予定）で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。